

大学生による橋梁点検の現地学習会を行いました。 ～ 未来の土木技術者が橋梁点検を体験 ～

「栃木県道路メンテナンス会議」では、宇都宮大学のご協力のもと、将来の土木技術者を目指す学生の皆さんに、橋梁の点検を体験して頂くことにより、道路施設のメンテナンスサイクルの重要性を学習して頂くことを目的に現地学習会を開催しました。

- ◎ 開催日時 平成26年12月5日(金) 13:00～16:00
- ◎ 開催場所 新4号国道とちの実橋
- ◎ 参加者 34名(学生 31名、先生 3名)



宇都宮国道 今田道路構造保全官より、橋の高齢化が進んでいる実態や、今できる長寿命化対策として、点検→診断→措置→記録のメンテナンスサイクルを回していくことの重要性を説明しました。また、地方自治体には土木技術者が不在の組織もあり、国土交通省では自治体支援も重要と考えていることを説明しました。



現地学習会は、今年度「とちの実橋」を点検した「(株)ワイ・シー・イー」の協力で実施。現場では3班に分かれ、①主に橋脚を中心に橋全体の点検、②高所作業車による桁下の点検、③はしごを利用した桁端部の点検を順番に体験しました。寒空の中、経験豊富な点検員の解説を、真剣な眼差しで聞いていました。